

このまちの100年

「町田」

横浜鉄道(現在のJR横浜線)、小田急線の駅が開業により、原町田地区が町田の中心地となっていきます。その後も国鉄駅の小田急寄りへの移転、駅前の再開発が行われ、さらなる街の整備が続きました。



明治後期～大正前期

明治41年に開業した原町田駅。現在のJR横浜線町田駅



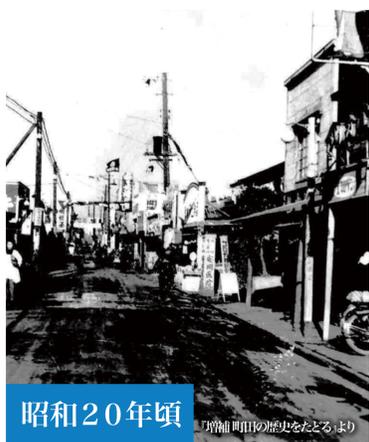
明治45年

ウメやサクラの木々が植えられ、町田の観光名所となっていた、小川梅園



大正15年頃

八王子と横浜を結ぶ絹の道の中継点となって、二・六の市が開催されていた原町田



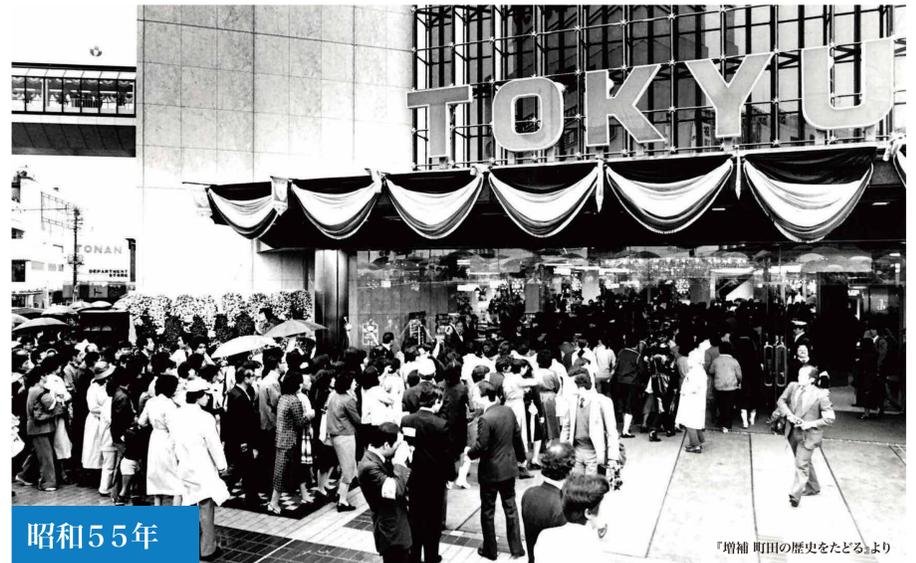
昭和20年頃

戦後の再興は早かった町田の商業地。昭和20年頃の原町田の様子



昭和45～54年頃

市街地再開発前の町田駅周辺の様子



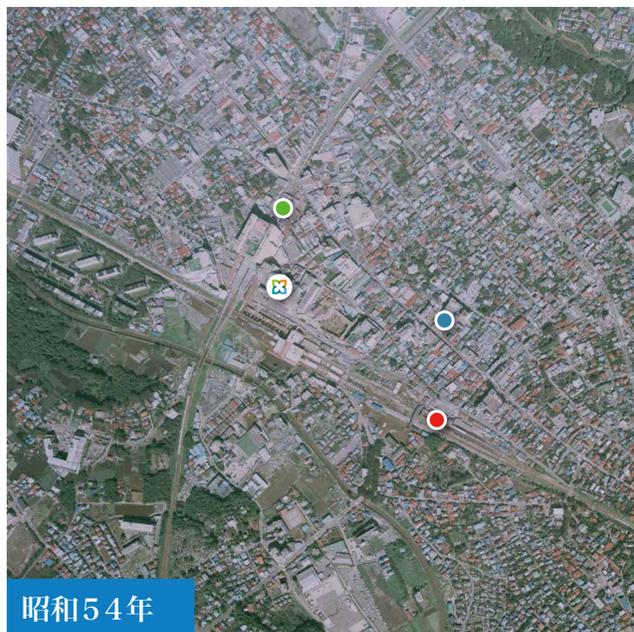
昭和55年

再開発ビルに開店した、まちだ東急百貨店。オープン当時の様子

上空からみた町田エリア



昭和22年



昭和54年



令和元年

 : 現在地
 : 吉川百貨店/ぼっぼ町田  : 新町田駅/町田駅(小田急)  : 原町田駅/町田駅(JR)

出典: 国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集: 株式会社コロマチ